

日本手話と日本語の違いをふまえた手話翻訳

講座概要

群馬大学共同教育学部で専門科目として開講している、厚生労働省手話通訳者養成カリキュラム応用課程相当の授業を学生たちと一緒に体験していただけます。なんとなく訳せていると思っているけれど、実はろう者から見るとわかりにくいと感じることの多い手話通訳。本講座では、ろう者の手話表現をモデルとして、日本語から日本手話を学びます。

本講座は、手話通訳者を目指す方（厚生労働省手話通訳者養成講座実践課程修了相当の方）、手話通訳者で日本手話の通訳技術を高めたい方、厚生労働省の手話奉仕員及び手話通訳者養成カリキュラムに基づいて指導を行う手話学習支援講師の方、聴覚障害児・者の教育及び支援に関わる方が対象となります。

演習形式で実施するため、オンデマンド配信はありません。
また、手話通訳はつきません。

実施責任者：共同教育学部 特別支援教育講座 教授 金澤貴之

日程	講義内容	講師
11月15日（火） 14：20～15：50	ろう者の手話表現を参考にしながら、日本語から日本手話への翻訳を細かく検討していきます。適宜、講師が日本手話と日本語の文法的な違い、語用論的な違い、文化的調整の必要性について解説を行います。	共同教育学部 特別支援教育講座 准教授 中野 聡子 大学教育・学生支援機構 学生支援センター 研究員 下島 恭子